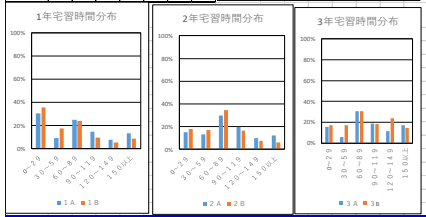
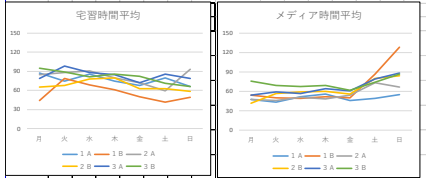


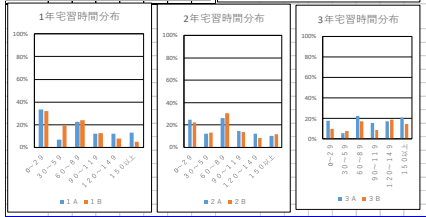
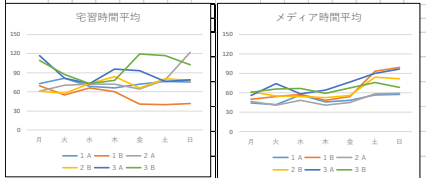
6月第2週(6/6~6/12)

宅習時間平均							メディア時間平均								
学年・曜日	月	火	水	木	金	土	日	学年・曜日	月	火	水	木	金	土	日
1A	87	74	86	75	68	79	66	1A	48	44	52	56	46	49	55
1B	44	79	69	61	50	42	49	1B	54	50	50	50	56	67	128
1年平均	67	77	77	68	59	61	58	1年平均	53	47	52	54	48	67	85
2A	85	88	91	79	72	59	93	2A	48	46	51	48	54	74	67
2B	65	67	78	79	63	63	58	2B	43	57	59	60	56	80	84
2年平均	74	76	83	73	67	61	75	2年平均	44	52	56	54	55	77	75
3A	79	88	88	84	72	85	79	3A	54	60	57	64	61	79	88
3B	95	89	82	85	82	71	66	3B	75	70	68	70	62	74	86
3年平均	90	83	84	85	77	78	72	3年平均	69	65	63	67	61	76	87



6月第3週(6/13~6/19)

宅習時間平均							メディア時間平均								
学年・曜日	月	火	水	木	金	土	日	学年・曜日	月	火	水	木	金	土	日
1A	73	81	68	66	72	76	75	1A	44	42	57	46	49	57	58
1B	69	55	66	60	41	40	42	1B	51	54	57	48	54	93	99
1年平均	71	69	67	64	58	59	59	1年平均	47	48	57	47	51	74	76
2A	61	71	72	72	64	79	122	2A	47	41	49	41	46	58	59
2B	61	58	73	84	66	80	78	2B	62	55	55	52	56	84	81
2年平均	61	64	72	78	65	80	97	2年平均	54	48	51	48	51	75	72
3A	117	82	73	96	93	76	79	3A	56	74	58	64	77	90	96
3B	109	87	73	78	119	116	102	3B	61	66	67	59	67	76	69
3年平均	113	84	73	87	103	91	86	3年平均	59	70	62	62	72	86	88



今の自分を振り返るアンケート (登下校編)

6月10日実施

項目	1 自力登校				4 あいさつ				7 登校方法					
	1	2	3	4	1	2	3	4	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
評価	できている	どちらかというくらい	できていない	できていない	できている	どちらかというくらい	できていない	できていない	徒歩	自転車	徒歩・車	自転車・車	車	その他
人数	45	51	26	19	55	69	18	3	21	32	12	53	26	6

項目	時間		人数	
	時間	人数	時間	人数
2 家を出る時間	7:00以前	14	7:00以前	14
	7:10	8		
	7:15	11	7:00	
	7:20	16	~	76
	7:25	10	7:30	
	7:30	31		
	7:35	6		
	7:40	21		
	7:45	11	7:30	58
	7:50	11	~	
7:55	2	8:00		
8:00	7			
8:05	1			
8:10	0	8:00以降	3	
8:10以降	2			

項目	時間		人数	
	時間	人数	時間	人数
5 学校を出る時間	4:30	46	学校を出る時間	
	4:40	21		
	4:50	16		
	5:00	1		
	5:00~6:00	1		
	6:00	1		
	6:10	0		
	6:20	1		
	6:30	21		
	6:40	11		
6:50	27			
6 家に帰る時間	4:40	15	家に帰る時間	
	4:50	21		
	5:00	35		
	5:10	4		
	5:20	2		
	5:30	4		
	5:40	0		
	5:50	1		
	6:00	2		
	6:10	0		
6:20	0			
6:30	1			
6:40	4			
6:50	10			
7:00	24			
7:10	7			
7:10以降	18			

【何かをなすためには】・・・「これだけは頑張り抜いた」が大事！！

米大リーグ通算3089安打という偉業を成し遂げたイチロー選手が、現役引退を表明してから2年弱。人々に大きな夢と感動を与えてきた、その「超一流、プロとしての生き方に学ぶべきこととは？

若き日のイチロー選手の専属打撃投手として、練習に打ち込む姿を間近で見えてきたという奥村幸治さんにお聞きました。(奥村)

これは私が打撃投手に区切りをつけ、トレーナーになろうとメンタルトレーニングの勉強をしていた時のことだった。イチロー選手を掴まえて、メンタルトレーニングについてどのように考えているかと尋ねてみた。すると彼はひと言、「メンタルを鍛える、つまり心を鍛えるっていうのは、自分に必要なことを続ける努力をすることじゃないんですか」と答えた。

私はその答えに興味を覚え、さらに質問を続けた。「これまでに、これだけは絶対誰にも負けていないと胸を張って言える努力って何？」と。

「高校の時に寮に入っていた3年間、僕は寝る前の10分間素振りをしていました。そしてそれを1年365日、3年間欠かさず続けました。それが僕の誰にも負けられないと思える努力です」

この話を聞きながら、私は高校時代に自分がどんな努力をしてきただろうかと自らに問い掛けた。「きょうは家に帰ったら300回素振りをしよう」とか「きょうはいつもより多く走ってこよう」といった努力はしてきたが、イチロー選手のようにこれだけは絶対にやらなければならないという思いで続けてきたことは何もなかったことに気づかされた。

この話には後日談がある。つい最近のことだが、私の講演を聞いてくれていたイチロー選手の高校時代の先輩に声を掛けられ、その講演で触れた「10分間の素振り」について話題が及んだ。「やっぱり本当なんですか」と尋ねると、その答えに私は驚いた。

「10分間の素振りね、あれは最低10分だからね。やり続けると1時間でも2時間でもやっていたよ」。

イチロー選手は既に高校生の頃には一度自分で決めたことを、決してゼロにはしなかった。そうやって心を鍛えてきた事実には私は新たな衝撃を受けた思いだった。

NHKの特集番組でイチロー選手は次のような趣旨のことを語っている。

「心が折れそうになった時、自分が続けてきたことをやめてしまおうと思ったこともあった。しかし、もし仮にやめてしまったら自分が自分ではなくなってしまう」

これは彼にとって、いまの自分があるのは、やると決めたことを休むことなく続けてきたからだという認識を強く持っているからに他ならない。彼の弛まぬ努力の仕方そのものが心の支えとなり、いまを生きる力になっているのだと私は思う。

- 8:05 正門を通過
- 8:10 教室入室完了
- 8:15 朝学習・朝読書開始

※ 守れてない人は、登校時間を見直してください。